

SDG S

Report 2022

2022.01-2022.12



藤久運輸倉庫株式会社

藤久運輸倉庫株式会社

SDG s レポート

藤久運輸倉庫とSDG s

私たちはCSRを「お客さまや社会から支持され、環境や社会と共存する企業として、企業が不祥事を起こさないようにすると共に、企業を取り巻く利害関係者に積極的に貢献していく社会的責任」と定義し、以下4つの責任を果たすべく活動を行ってきました。

法的責任

経済的責任

倫理的責任

社会貢献的責任

2015年に国連によりSDG s 宣言が採択され、藤久運輸倉庫ではSDG s の達成に貢献することが社会からの期待と捉え、CSRの取組みを拡大させるべく2020年10月に「SDG s 宣言」を行い、持続可能な社会の実現に貢献することといたしました。SDG s の各目標を経営課題目標に盛り込み、社員ひとりひとりがこの課題に取り組んで参ります。



目次

CSR基本方針	3
安全	4-7
環境	8-9
社会貢献活動	10-11
B C P 対策	12-13

CSR基本方針

私たちは、法令およびその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて、社会から信頼され、愛され、尊敬される企業を目指し、次のとおり全てのステークホルダー（お客様、地域社会、取引先、従業員など）を重視した事業活動をおこない、社会・地域の調和のとれた持続可能な発展に貢献します。

お客様

私たちは「お客様第一」という信念に基づき、お客様が安全・安心を得られるために、且つお客様のさまざまな期待に応えるために、お客様に真にご満足いただける優れたサービスの開発と提供に努めます。

私たちは道路交通法、道路運送法、貨物自動車運送事業法など関連法令およびその精神を遵守し、お客様に信頼される営業活動を推進します。

私たちは個人情報保護およびその精神を遵守し、お客様の個人情報保護の徹底に努めます。

地域社会

私たちは事業活動を通じて環境保全に努め、地球環境・地域社会との調和ある成長を目指します。

私たちは社会・経済の要請に応え、法令を守り「人間性尊重」の経営を実践します。

私たちは豊かな地域社会づくりを目指し、社会貢献活動を積極的に推進します。

私たちは交通安全対策へ積極的に取り組みます。

取引先

私たちは取引先を尊重し、長期的な視野に立ち、相互信頼に基づく共存共栄の実現に取り組みます。

私たちは独占禁止法、下請法をはじめとする関連法令およびその精神を遵守し、公平かつ自由な取引をおこないます。

従業員

私たちは労働関連法令の遵守はもとより、従業員が生き生きと働けるように、相互信頼・相互責任の精神に則り、お互いを思いやり、それぞれの考え方や立場を尊重します。

私たちは従業員が誠実に仕事に取り組み、チャレンジ精神を大切に、新しい価値の創造を目指すことができるよう個々の自己啓発・成長を支援します。

私たちは安全で健康的な職場づくりに努めます。

私たちは機密情報を厳重に取り扱うと共に、適時適確な情報開示に努めます。

安全



安全理念に則り、お客様、地域社会、従業員へ安全・安心を提供してまいります

ISO39001認証

藤久運輸倉庫株式会社 中部事業部 運輸部では2015年7月10日から、道路交通安全マネジメントシステムの国際規格「ISO39001」の認証(登録証番号：JQA-RT0050、登録活動範囲：一般貨物の輸送サービス)を取得しています。

当社では、事故防止研修会の実施、ヒヤリハット情報収集・活用、交通事故予防システムの運用など、交通事故撲滅に向け日々取り組んでおります。



安全教育

安全教育のため、全体研修会のほか定期的な啓蒙活動を行っています。

- 事故防止研修会 4月23日実施 (刈谷物流センター)
- 交通安全研修会 10月15日実施 (刈谷市産業振興センター)
- 11月12日実施 (首都圏事業部東京営業所)
- トラックセーフティラリーへの参加、立哨 毎月1回実施

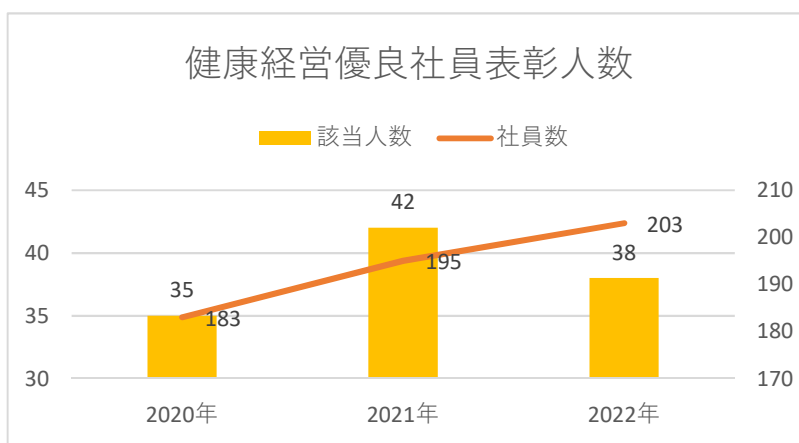


健康経営優良法人認証取得

健康経営優良法人認定制度とは優良な健康経営にとり組む企業を「見える化」し

「社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業」として顕彰する制度です。

認証取得継続を目標とし、健康経営を全社員で推進するため、2020年に「健康経営優良社員表彰規定」を新設し、目標達成社員を表彰して健康経営の実践に努めています。



「ホワイト物流」推進運動への参画

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言しています。

No.	分類番号	取組項目
1	A ①	物流の改善提案と協力
2	A ③	パレット等の活用
3	A ⑯	検品水準の適正化
4	B ①	運送契約の書面化の推進
5	C ②	働き方改革等に取り組む物流事業者の積極的活用
6	D ①	荷役作業時の安全対策

※「ホワイト物流」推進運動ポータルサイト <https://white-logistics-movement.jp/>



健康起因事故未然防止

健康起因事故の未然防止のため、以下の取り組みを実施しています。

- 定期健康診断
- 睡眠時無呼吸症候群(SAS)健診
- 脳ドック健診
- 心臓ドック健診
- 血圧測定
- 活動量計
- ストレスチェック
- みんなで歩こうキャンペーン※



ウェアラブル
端末活用
みんなで歩こう
キャンペーン
2022
5/1 (日) ~ 5/31 (火)

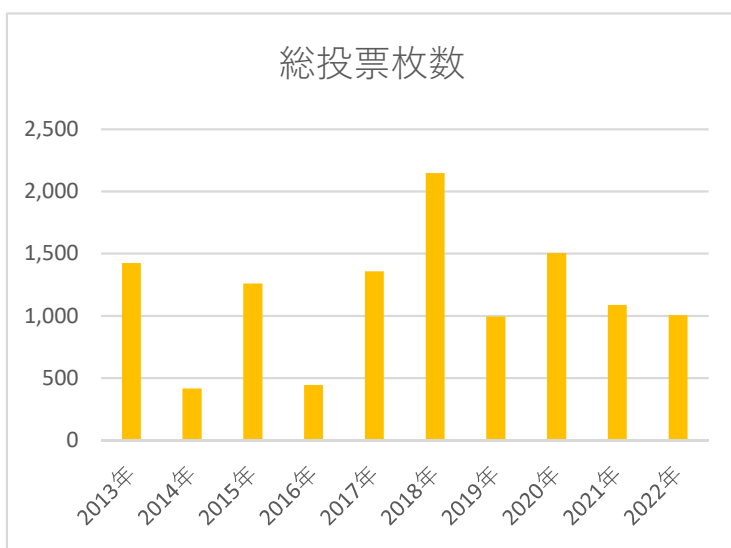
■参加賞 1,000円
■個人賞(景品有)
1位3,000円 2位2,000円 3位1,000円
■チーム賞 1位3,000円 2位2,000円 3位1,000円
■健康経営賞 1,000円
(平均8,000歩/日以上の方全員)

参加者募集
【参加方法】
①参加証明書を総務へ提出
②ウェアラブル端末等で歩数を記録
③印刷用紙に歩数を記入し提出
※1期目: 2022年4月12日~5月31日

※2022年は新型コロナウイルス感染防止のためウォーキング大会が中止となり、代わりにウェアラブル端末を利用した社内行事を行いました

社員幸福度の追求

2013年より毎月10日を「藤久感謝の日」として身近な方へ感謝を伝える日と制定し、感謝を伝えたい人へカードを贈るサンクスカード制度を実施しています。年間を通して一番投票した人、得票した人を年末の納会にて表彰しています。



累計投票数
11,629 枚

毎月10日は藤久感謝の日

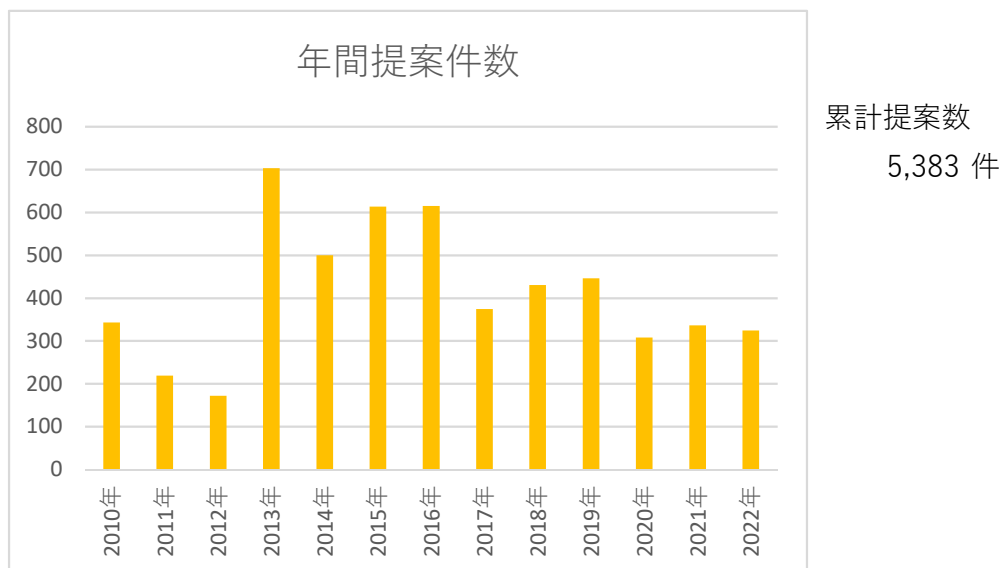
感謝

- 親に感謝、友達に感謝、同僚・部下・上司に感謝、家族に感謝.....
気付くことができれば感謝は無限に存在します。
- お互いの長所を発見してリスペクトすることで感謝がポコポコ
生まれてくる環境を目指しましょう。
- 大切なことは「ありがとう」の気持ちを相手に伝えること。
「褒める・褒められる」の関係が、社内のコミュニケーションを円滑にします。

改善提案制度

業務を行う中で感じた改善点を提案する制度として、改善提案制度を設けています。小さな改善から原価低減効果のある提案、経営提言まで、年間を通して多くの提案が寄せられます。

定期的に内容を精査し、効果の高い提案を行って頂いた方や多くの提案をして頂いた方は年末の納会にて表彰しています。



交通安全広報車

交通事故防止の啓もう活動の一環として刈谷市朝日幼稚園の園児が描いたイラストを交通安全広報車としてトラックにラッピングをしています。

4月12日「刈谷市セーフティーキャンペーン」、9月27日「交通事故防止キャンペーン」が刈谷ハイウェイオアシスにて行われ、この交通安全広報車を派遣しました。当社社員も啓発品の配布と共に交通安全を呼びかけました。



環境



地球環境保全の重要性を認識し、企業活動のあらゆる面で環境との調和を図り、豊かで住みやすい社会の構築に取り組んでまいります

ISO14001認証

環境目的に対する目標と結果

①省エネルギーの推進 電気使用量の削減

目標： 34,969 k Wh/年

結果： **35,733 k Wh/年** 達成率： **98%**

②天然資源の有効活用 コピー用紙使用量の削減

目標： 21,954 枚/年

結果： **20,585 枚/年** 達成率： **107%**

③廃棄物の削減 焼却・埋立廃棄物の削減

目標： 130.27 k g/年

結果： **125.61 k g/年** 達成率： **104%**

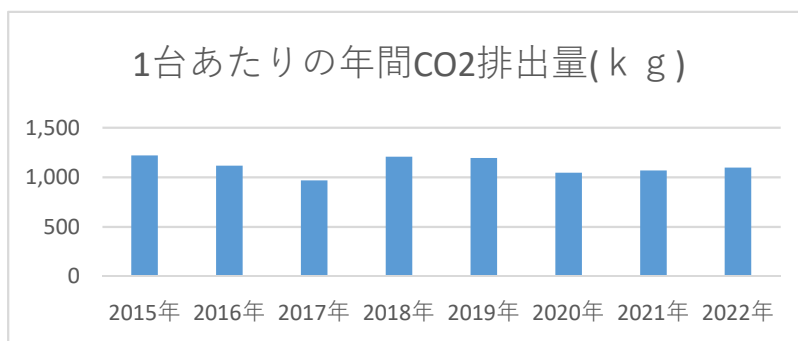
④環境に配慮した取組・活動 環境美化活動

目標： 地域清掃活動の実施/月1回

結果： **達成** 達成率： **100%**

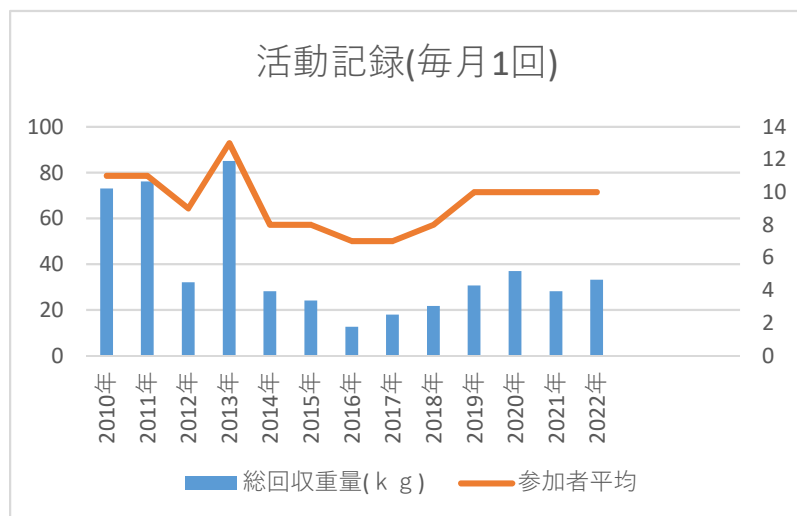
エコドライブの推奨

Fun to shareの取り組みに賛同し、マイカー、社用車のエコドライブを推進し、環境保護に取り組んでいます。



地域清掃活動

月に一度、会社の周りの清掃活動を行い、環境保護、資源リサイクル活動に協力しています。



累計回収量
499 k g



SBTイニシアチブ認定

当社の設定した温室効果ガスの削減目標が、国際的なイニシアチブである「SBT※イニシアチブ」により科学的根拠に基づいた目標として認定されました。

掲げた目標は以下の通りです。

※Science Based Targets

- スコープ1およびスコープ2について、2018年度を基準に2030年までに50%に削減する。
- スコープ3について、排出量を測定し削減することを約束する。



グリーンカーテン設置

本社事務所南側の窓にゴーヤのグリーンカーテンを設置しました。2022年は刈谷市グリーンカーテンコンテストの事業所部門において優秀賞を受賞しました。



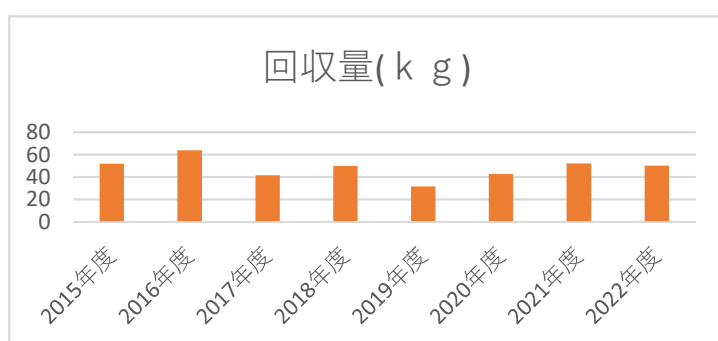
社会貢献活動



法的責任、経済的責任、倫理的責任を重視し、社会貢献活動に取り組んでまいります

ペットボトルキャップの回収

回収したキャップをリサイクル業者へ持ち込むとリサイクル代金がNPO団体へ寄付され、UNICEFと連携し支援を必要とする国や地域へワクチンが届けられる活動を継続しています。

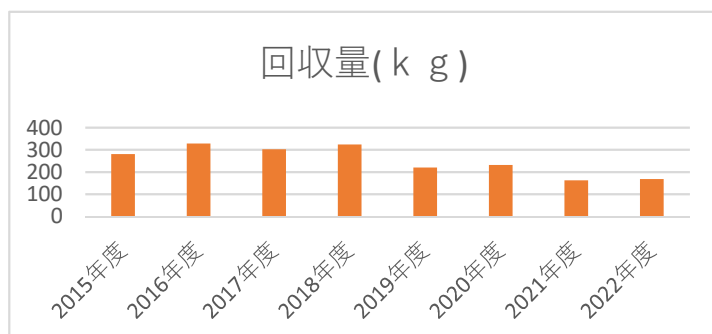


累計回収量
383 k g

累計個数概算
164,716 個

社内・家庭におけるアルミ缶の回収、売却代金の寄付

回収したアルミ缶をリサイクル業者へ持ち込み売却し、資源のリサイクルにも貢献しています。売却代金は刈谷社会福祉協議会へ寄付しています。



累計回収量
2,013 k g

累計寄付金額
131,740 円

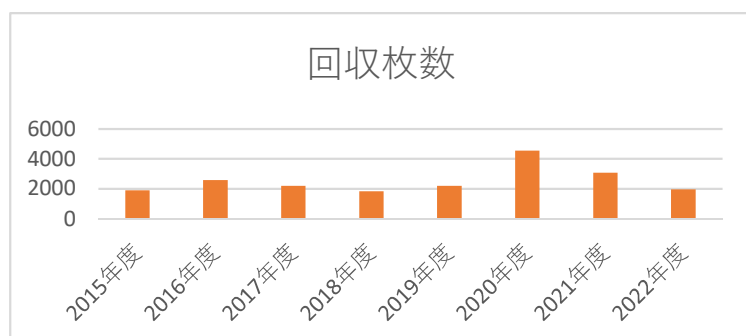
社内自動販売機売上の一部を寄付

自販機売上の一部がベンダーを通じて社会福祉協議会、交通遺児育英会、緑の募金へ寄付されています。

2022年総寄付金額 222,665 円

古切手の回収

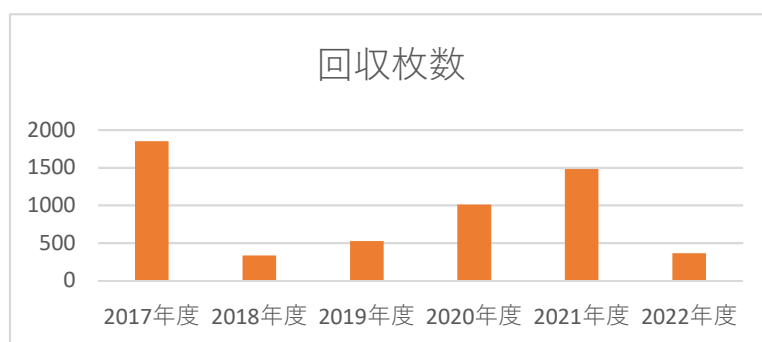
使用済古切手を回収、公益社団法人を通じて愛好家へ売却、支援を必要とする国や地域で役立てられています。



累計回収枚数
20,245 枚

ベルマークの回収

2022年から従来のベルマーク回収に加えて、ウェブベルマーク支援にも取り組んでおり、支援金がウェブベルマーク協会からベルマーク教育助成財団を通じて、被災校をはじめ、全国の学校支援に活用されています。



累計回収枚数
5,568 枚

累計点数
6,355 点

ウェブベルマーク累計点数
4,756 点

献血の推奨

献血を推奨しており、献血を実施した際は会社に申告を行って頂いています。

2022年献血実施人数 13 人

その他寄贈

2月22日刈谷市児童発達支援センター「しげはら園」へ手すり付き体重計「バリアフリースケール」を寄贈しました。



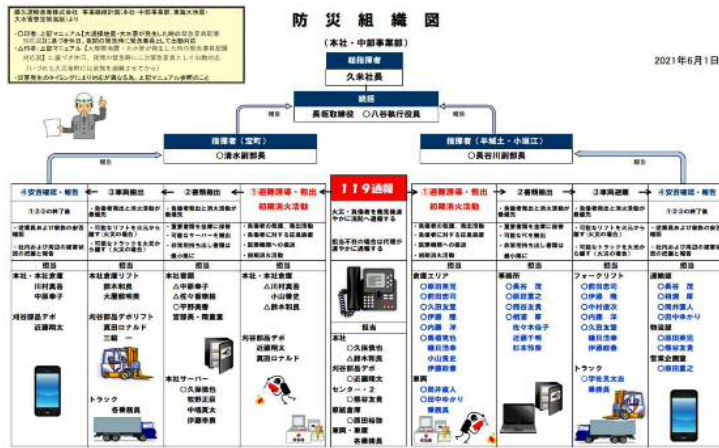
BCP対策



事業継続活動体制維持に向け、自然災害を含むあらゆる脅威への対策に取り組んでまいります

災害時対応マニュアルの整備

BCPマニュアルを作成し、定期的に内容の見直しを行っています。



種別	BCP本文	BCPサブシート
BCP表紙		
1. 基本方針		
1-1. BCPの基本方針		
1-2. BCPの対象事業		
1-3. BCPの適用範囲		
1-4. 認定する被害		
2. BCP体制		
2-1. 対策本部の組織と役割・担当		
2-2. 緊急宣言と終了宣言		
3. 緊急連絡体制		
3-1. 従業員連絡リスト		3-1 従業員連絡リスト
3-2. 親主企業連絡リスト		3-2 親主企業連絡リスト
3-3. 協力会社連絡リスト		3-3 協力会社連絡リスト
3-4. その他緊急連絡リスト		3-4 その他緊急連絡リスト
4. 初動対応		
4-1. BCP発動宣言		
4-2. 避難		
4-3. 人命救助と人的被害状況の把握		
4-4. 従業員の行動指針		
4-5. 物的被害状況の把握		
4-6. 親主企業との連絡		
4-7. 協力会社・提携関連先等の仕入先との連絡		
4-8. 関係行政、トラック協会との連絡		
4-9. 情報収集		
4-10. 事業継続のための財務計画		
5. 重要業務の継続対応		
5-1. 重要業務と目標復旧時間		
5-2. 重要業務別リスクの想定と対策		5-2 リスクの想定と対策
5-3. 事前対策		5-3 リスクチェックリスト
5-4. 重要業務別バックアップ計画		5-4 バックアップ計画
5-5. 復旧計画		5-5 復旧計画
6. 緊急搬送物資輸送		
6-1. 被災地内における緊急搬送物資輸送		
6-2. 被災地外における緊急搬送物資輸送		
7. 復旧の記録		
7-1. 復旧記録シート		7 復旧記録シート
8. 運用管理規定		
8-1. 配布と回収及び取扱いの注意事項		
8-2. 教育訓練		
8-3. 現状の点検と内容の見直し		8-3 現状評価チェックシート
8-4. 旅行カード		8-4 旅行カード

防災訓練の実施

毎年消防設備点検に合わせて火災・地震を想定した防災訓練を実施しています。2022年は刈谷消防署にて救急訓練として救命講習を受講しました。



取引先とのBCP

災害時や異常事態時の生産復旧に対応できるよう、取引先とのBCPの協力体制を構築しています。

市町村とも連携し災害時に各拠点へ物資の輸送を行う体制を整えています。

刈谷市災害時物資供給マニュアル (案)

令和4年3月

<目次>

I. 基本情報	1
1. 本マニュアルの目的	1
2. 本マニュアルの適用	1
3. 関係部署	3
4. 災害時物資の種類	4
5. 物資供給点の役割	6
II. 物資供給体制	6
1. 物資供給体制	6
2. 物資供給の中心となる	6
3. 物資供給の範囲と役割	10
4. 第1次物資供給体制(災害発生時の物資供給体制)	11
5. 物資供給体制の維持と緊急事態発生時の対応	12
III. 災害時物資供給の業務プロセス(フロー図)	14
1. フォーズ1: 発災の発生(発災の発生-3時間)	14
2. フォーズ2: 物資供給の開始(発災から24時間以内)	17
3. フォーズ3: 物資供給の継続(物資供給の開始から24時間以内)	20
4. フォーズ4: 物資供給の完了(物資供給の開始から24時間以内)	24
5. フォーズ5: 物資供給の完了(物資供給の開始から24時間以内)	26
IV. 物資供給体制の強化に向けた今後の取り組み	32
1. 本マニュアルの改善・見直し	32
2. 今後の取り組み	32
V. 関係部署	33
1. 課長	33
2. 課長	33
3. 課長	33
4. 課長	33
5. 課長	33
6. 課長	33
7. 課長	33
8. 課長	33
9. 課長	33
10. 課長	33

非常時電源の確保

太陽光発電システムを導入している本社・刈谷部品デポ倉庫の災害時電源供給システムに加え、災害時フォークリフトのバッテリーから電源を賄うことを目的としたインバーターを導入しました。

併せてインバーターと「点検なび」を併用する事で災害時には給電拠点として地域住民の方への電力提供(電源ドナー)も可能です。

